



2025年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年7月10日

上場会社名 株式会社コメダホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 3543 URL <http://www.komeda-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甘利 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO (氏名) 清水 宏樹 TEL 052-936-8880
 四半期報告書提出予定日 2024年7月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同期四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	11,050	5.7	2,111	△6.4	2,109	△6.1	1,437	△6.1	1,437	△6.0	1,448	△5.9
2024年2月期第1四半期	10,454	16.7	2,256	21.2	2,246	17.5	1,530	17.6	1,528	17.9	1,538	17.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	31.43	31.41
2024年2月期第1四半期	33.14	33.12

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	100,362	42,622	42,622	42.5
2024年2月期	102,772	43,110	43,110	41.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	26.00	—	27.00	53.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,465	5.2	9,350	7.3	9,285	6.9	6,330	6.0	6,330	6.0	138.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期1Q	46,238,400株	2024年2月期	46,235,400株
② 期末自己株式数	2025年2月期1Q	688,391株	2024年2月期	410,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期1Q	45,730,482株	2024年2月期1Q	46,088,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2024年7月10日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり利益)	9
(後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外食産業は、経済社会活動の正常化や賃上げの動きなどにより個人消費の動向が高まり、緩やかな回復傾向が続いております。一方で、円安の長期化や地政学リスクによる原材料価格やエネルギーコスト高騰の継続、人財採用難による働き手不足や人件費の上昇、お客様のライフスタイルや価値観の変化など、極めて先行き不透明な事業環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「VALUES 2025」に掲げる『“くつろぎ”で、人と地域と社会をつなぐ』をスローガンに、既存モデルの拡充、新しい共創価値の追求、財務価値の維持拡大に取り組んでまいりました。

店舗においては、原材料価格やエネルギーコストの高騰に加え、人件費の上昇の影響を受けて、4月から店頭メニュー価格の値上げを実施するとともに、このような値上げに対して、デザートセットを今までよりもお求めやすい価格にするなど、お客様の店舗体験価値向上を図るべく各種QSC向上施策に努めてまいりました。また、SNSで大人気の「おばんちゅうさぎ」とのコラボレーション商品やロッテ株式会社様のガーナミルクを使用した「シロワール ガーナミルク」などの季節限定商品を発売したことにより、多くのお客様にご来店いただきました。これらの取組みにより、当第1四半期連結累計期間におけるFC加盟店向け卸売の既存店売上高前年比は103.7%、全店売上高前年比は109.2%となりました。

コメダ珈琲店について、国内を中心に新規に10店舗を出店した結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は1,030店舗となりました。

区分	エリア	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	当第1四半期 連結会計期間末
コメダ珈琲店	東日本	331 (14)	3 (－)	－ (－)	334 (12)
	中京	304 (3)	3 (－)	1 (－)	306 (3)
	西日本	330 (9)	3 (－)	－ (－)	333 (9)
	海外	39 (13)	1 (1)	2 (1)	38 (13)
おかげ庵	全国	13 (6)	－ (－)	－ (－)	13 (5)
BAKERY ADEMOK KOMEDA is □ 大館吉日 La Vinotheque	全国	6 (6)	－ (－)	－ (－)	6 (6)
合計		1,023 (51)	10 (1)	3 (1)	1,030 (48)

(注) 1. () 内の数字は直営店舗数であり、内数で記載しております。

2. コメダ珈琲店の東日本エリアにおいて直営店2店舗、おかげ庵について直営店1店舗をFC化しております。

以上の取組みの結果、売上収益は11,050百万円（前年同期比5.7%増）となりました。一方、4月より店頭メニュー価格の値上げを実施したものの、FC加盟店向けの卸売価格を据え置いたこと等により営業利益は2,111百万円（前年同期比6.4%減）、税引前四半期利益は2,109百万円（前年同期比6.1%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,437百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

また、当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を「品質とお客様」、「人と働きがい」、「環境」の3つのテーマに分類し、この分類ごとに当社グループが経済価値の向上と社会課題の解決に貢献すべく、当第1四半期連結累計期間において実施した主な取り組みは次のとおりです。

品質とお客様に関するテーマ	
商品・サービスの安全・安心の追求	お客様の店舗体験価値向上、店舗設備の安全性強化のため全国の店舗で順次改装を実施
多様な消費者ニーズへの対応	人気キャラクター「おぼんちゅうさぎ」とのコラボレーション商品3種類を発売
	大判チキンの竜田揚げに生姜醤油ソースが香る季節限定バーガー「鶏タツタバーガー」を発売
	おかげ庵で季節限定の「明太とろろきしめん」「ジャージャーまぜきしめん」「ざるきしめん」、かき氷の新味「焼きいもみるく」を発売
	おかげ庵で「抹茶ティラミス」など、季節限定の甘味を含めた商品を発売
	ロッテ株式会社様のチョコレート「ガーナミルク」とのコラボレーション商品「シロノワールガーナミルク」をはじめ4種類を発売
	森永製菓株式会社様と「小枝<コメダ珈琲店シロノワール>」をはじめとした6種類のコラボレーション商品と「コメダ珈琲店ミックスジュースアイスバー」を販売
	飲料メーカーや食品メーカーと共同で量販店やコンビニエンスストアにおいて「珈琲所コメダ珈琲店 まろやか珈琲ゼリーオーレ」「コメダ珈琲店 フルーツミックススムージー」「コメダ珈琲店 ミルクセーキ」等のチルドカップ飲料、「コメダ特製こしあん」「珈琲所コメダ珈琲店監修 珈琲スプレッド」等のジャム・スプレッド類を販売
	玩具メーカーや出版社と共同でアミューズメント施設向けの景品や「おうちでコメダ珈琲店 真空断熱マグタンブラーBOOK」等を販売
心と体の健康への貢献	飲み込みに不安のある方でも飲みやすい「とろみコーヒー」をコメダ珈琲店の一部店舗で発売
コミュニティへの参画と投資	インドネシア2号店「セセタン・バリア일랜드店」をオープン
	100を超える店舗が季節を感じていただける店内装飾を競うコンテストを3月に実施
	北陸エリアにおいて、能登半島地震復興支援としてミニシロノワール半額キャンペーンを実施
	店舗のない場所にもコメダのくつろぎをお届けする、コメダキッチンカーが各地へ出動 地域住民の乗り合いバス「チョイソコ」の停留所として店舗の駐車場を活用
人と働きがいに関するテーマ	
人材の確保と成長を支える環境整備	多様な人財の確保のため、現在店舗で活躍するミャンマーの方々に続く、二期生の受入を準備
	F C加盟店の人財確保のため、名城大学女子駅伝部と共同で採用ポスターを制作
良好な雇用関係と適正な労働条件	主体性を発揮し、ウェルビーイング・帰属意識・貢献意欲の向上を図るためのエンゲージメント調査を実施
環境に関するテーマ	
廃棄物削減と資材循環の推進	名古屋市内にある東山動植物園へ従来廃棄していたコーヒー豆の麻袋を寄贈
	省資源と安全性向上のためコーヒーボトルのラベルを順次廃止
	フードロス削減と地域へのつながり強化の取り組みとして、子ども食堂やフードバンクへ食材を寄贈
	既存店の改装工事により不要となった木材の一部を、みなと当知店において中庭の敷板として再利用

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりです。

流動資産は、現金及び現金同等物の減少等により前連結会計年度末に比べ2,012百万円減少し、17,401百万円となりました。非流動資産は、営業債権及びその他の債権の減少等により前連結会計年度末に比べ398百万円減少し、82,961百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ2,410百万円減少し、100,362百万円となりました。

また、流動負債は、未払法人所得税の減少等により前連結会計年度末に比べ1,440百万円減少し、12,118百万円となりました。非流動負債は、借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ482百万円減少し、45,622百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ1,922百万円減少し、57,740百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ488百万円減少し、42,622百万円となりました。これは主に、四半期利益を1,437百万円計上した一方で、剰余金の配当1,237百万円を実施したこと、自己株式718百万円を取得したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,470百万円減少し、6,453百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は1,068百万円（前年同期比239百万円減）となりました。これは主に税引前四半期利益2,109百万円（前年同期比137百万円減）を計上したこと、その他の金融負債の増加額469百万円（前年同期比399百万円増）、法人所得税等の支払額1,465百万円（前年同期比346百万円増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は848百万円（前年同期比4百万円増）となりました。これは主に定期預金の減少額1,200百万円（前年同期比200百万円増）、有形固定資産の取得による支出258百万円（前年同期比149百万円増）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は3,399百万円（前年同期比61百万円増）となりました。これは主に借入金の返済による支出509百万円（前年同期比17百万円増）及びリース負債の返済による支出965百万円（前年同期比47百万円増）、自己株式の取得による支出715百万円（前年同期比114百万円増）、親会社の所有者への配当金の支払額1,212百万円（前年同期比35百万円増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想について、2024年4月10日に公表した通期連結業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,923	6,453
営業債権及びその他の債権	6,054	6,324
その他の金融資産	4,133	2,936
棚卸資産	373	394
その他の流動資産	930	1,294
流動資産合計	19,413	17,401
非流動資産		
有形固定資産	12,880	12,713
のれん	38,354	38,354
その他の無形資産	357	427
営業債権及びその他の債権	27,636	27,451
その他の金融資産	3,417	3,435
繰延税金資産	265	132
その他の非流動資産	450	449
非流動資産合計	83,359	82,961
資産合計	102,772	100,362
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	2,218	2,271
借入金	2,032	2,029
リース負債	3,895	3,736
未払法人所得税	1,621	647
その他の金融負債	2,618	2,340
その他の流動負債	1,174	1,095
流動負債合計	13,558	12,118
非流動負債		
借入金	9,112	8,606
リース負債	29,438	29,405
その他の金融負債	6,709	6,771
引当金	359	360
その他の非流動負債	486	480
非流動負債合計	46,104	45,622
負債合計	59,662	57,740
資本		
資本金	659	660
資本剰余金	13,042	13,060
利益剰余金	30,476	30,676
自己株式	△1,071	△1,789
その他の資本の構成要素	4	15
親会社の所有者に帰属する持分合計	43,110	42,622
資本合計	43,110	42,622
負債及び資本合計	102,772	100,362

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上収益	10,454	11,050
売上原価	△6,844	△7,308
売上総利益	3,610	3,742
その他の営業収益	92	26
販売費及び一般管理費	△1,436	△1,657
その他の営業費用	△10	△0
営業利益	2,256	2,111
金融収益	17	18
金融費用	△27	△20
税引前四半期利益	2,246	2,109
法人所得税費用	△716	△672
四半期利益	1,530	1,437
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,528	1,437
非支配持分	2	—
四半期利益	1,530	1,437
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.14	31.43
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	33.12	31.41

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期利益	1,530	1,437
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8	11
税引後その他の包括利益	8	11
四半期包括利益	1,538	1,448
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,533	1,448
非支配持分	5	—
四半期包括利益	1,538	1,448

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
2023年3月1日残高	651	13,100	26,895	△109	6	40,543	76	40,619
四半期利益			1,528			1,528	2	1,530
その他の包括利益					5	5	3	8
四半期包括利益合計	—	—	1,528	—	5	1,533	5	1,538
新株予約権の行使	5	3				8		8
株式報酬取引		10				10		10
配当金			△1,200			△1,200		△1,200
自己株式の取得				△601		△601		△601
非支配持分の取得		△79				△79	△81	△160
所有者との取引額合計	5	△66	△1,200	△601	—	△1,862	△81	△1,943
2023年5月31日残高	656	13,034	27,223	△710	11	40,214	—	40,214

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本 の構成要素	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2024年3月1日残高	659	13,042	30,476	△1,071	4	43,110	43,110
四半期利益			1,437			1,437	1,437
その他の包括利益					11	11	11
四半期包括利益合計	—	—	1,437	—	11	1,448	1,448
新株予約権の行使	1	1				2	2
株式報酬取引		14				14	14
配当金			△1,237			△1,237	△1,237
自己株式の取得		3		△718		△715	△715
所有者との取引額合計	1	18	△1,237	△718	—	△1,936	△1,936
2024年5月31日残高	660	13,060	30,676	△1,789	15	42,622	42,622

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,246	2,109
減価償却費及び償却費	402	347
金融収益	△17	△18
金融費用	27	20
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	96	42
差入保証金及び建設協力金の増減額 (△は増加)	△26	△18
営業債務の増減額 (△は減少)	228	51
預り保証金及び建設協力金の増減額 (△は減少)	△7	36
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	70	469
その他	△583	△493
小計	2,436	2,545
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△12
法人所得税等の支払額	△1,119	△1,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,307	1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減 (△は増加)	1,000	1,200
有形固定資産の取得による支出	△109	△258
無形資産の取得による支出	△31	△100
投資有価証券の取得による支出	△13	—
その他	△3	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	844	848
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△492	△509
リース負債の返済による支出	△918	△965
株式の発行による収入	10	2
自己株式の取得による支出	△601	△715
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,177	△1,212
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△160	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,338	△3,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,183	△1,470
現金及び現金同等物の期首残高	6,681	7,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,498	6,453

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

当社グループは、喫茶店のF C事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益 (百万円)	1,528	1,437
発行済普通株式の期中加重平均普通株式数 (株)	46,088,611	45,730,482
希薄化効果のある株式数 ストック・オプション	33,442	26,284
希薄化効果調整後の期中加重平均普通株式数 (株)	46,122,053	45,756,766
基本的1株当たり四半期利益 (円)	33.14	31.43
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	33.12	31.41

(後発事象)

該当事項はありません。